

令和5年度 第2回 浜松中部学園運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和5年7月25日（火） 14時00分から15時30分まで
- 2 開催場所 浜松中部学園 会議室
- 3 出席委員 齋藤 正、村井 秀行、藤野 直也、三浦 一哲、神村 佳宏、
鈴木 康子、成瀬 仁代、大石 将和、鳥居 浩幸、広瀬 恵子
- 4 欠席委員 木村 勝
- 5 学校支援コーディネーター 櫻井 康人
- 6 学 校 鈴木 伯（校長）、星宮 ちさと（教頭）、袴田 暁広（教頭）
山田 亘（主幹教諭）、井上 佐矢子（CSディレクター）
- 7 教育委員会 堀田 洋一（教育総務課）
- 8 傍聴者 なし
- 9 会議録作成者 CSディレクター 井上 佐矢子

10 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、藤野委員を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

11 協議事項

- (1) 校則のあり方について
- (2) いじめのない学校をめざして

12 会議記録

司会から、委員総数11人のうち10人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

(1) 校則のあり方について

グループに分かれて、校則のあり方についてそれぞれの意見や考えを出し合い協議し、それを図解化してグループごとに発表をした。

「生徒に主体的で自主的な判断力を身に付けさせること」を基本的な考えとし、考えて選ぶ機会を大切にしている。「身だしなみとして適切かどうか」についての判断の根拠となるのは、時と場、状況に応じた、ふさわしい姿をそれぞれの生徒が自分事として考えていくこととしている。

【Aグループ：藤野委員、鈴木委員、成瀬委員、大石委員、櫻井コーディネーター、星宮教頭】

委員からは、良い点として

- ・常に指示待ち、正解待ちの姿勢から、自分で考えようとする。
- ・「考える力」を学べる。
- ・自主性を重んじることは効果的。
- ・本人の考えで適切な「身だしなみ」を考えて行動することは良い。

- ・ 自主性、自立性を求める事はとても良い。人間形成につながる。
- ・ 適切な身だしなみにはじまり、社会的常識を身に付けることに役立つ。
等の意見が出た。そのことから
- ・ 自分で決めたことに責任をもつようになる。
- ・ 自分で考える力がつく。
- ・ 自主性や社会性が身につくことにより、人間形成につながっていく。
等、将来社会的に必要となる力が養われ、自主性・思いやりを兼ね備えた社会貢献できる生徒になることが期待できることがわかった。しかしながら、
- ・ 個人の判断に委ねるとなると、個人の常識力が問われる。
- ・ 周りに流されない環境作りが大事。
- ・ 服装および身だしなみについて“中学生らしく”は曖昧。
等の意見があり、
- ・ 保護者、子どもの常識力や社会性が問われる。
- ・ 少数派の考えが大切にされているか。
という課題も上がった。

その他報告事項

司会から、次回会議は、12月12日（火）に開催する旨の報告があった。